

# 赤潮対策プロジェクトチームの発足について

～赤潮研究の加速化に向けた取組み～

令和7年(2025年)4月15日  
熊本県水産研究センター

# 1 赤潮研究・技術開発の取組み

## (1) 魚 類 養 殖 (有害赤潮)

### ① 赤潮発生予察技術の開発等

#### 【国水研との共同研究】

- 赤潮発生メカニズムの解明
- 八代海流動モデル等を活用した赤潮発生予察技術の開発

#### 【漁業者等の取組み等への指導助言】

- ICTを活用したモニタリング体制の高度化
- AIを活用した赤潮増殖予察技術の開発



養殖業者による赤潮調査状況



テレメータシステムによる  
24時間自動連続観測

# 1 赤潮研究・技術開発の取組み

## (1) 魚類養殖(有害赤潮)

### ② 赤潮抑制・赤潮被害軽減技術開発

#### 【県の研究】

- 珪藻類を活用した発生抑制技術の開発
- 被害軽減のための改良餌料等の開発
- 赤潮終息後の被害軽減技術の開発

#### 【漁業者等の取組み等への指導助言】

- 漁場環境改善による発生抑制
- 新たな赤潮駆除の検証
- 生簀の大型化等による被害軽減対策
- 避難漁場・新規漁場候補地の検討



珪藻類を活用した  
抑制試験状況



改良餌料実証試験



海底耕耘に使用する杓

# 1 赤潮研究・技術開発の取組み

## (2) ノリ養殖（冬季珪藻赤潮）

### ① 赤潮発生予察技術・被害軽減技術の開発



ノリ養殖の作業状況(摘採)

#### 【国水研との共同研究】

- 赤潮発生メカニズムと発生予察技術の開発

#### 【県の研究】

- 季別運転による栄養塩供給がノリ養殖に与える効果の検証

#### 【漁業者等の取組み等への指導助言】

- 関係者と連携したモニタリング体制の高度化
- ノリ養殖スケジュールの見直し
- 二枚貝類による赤潮抑制効果の検証



高水温障害のくびれが発生したノリ  
(上段:健全なノリ、  
下段:高水温障害のノリ)

## 2 研究推進体制の充実

### (1) 赤潮対策プロジェクトチーム発足の目的

日本の赤潮研究の拠点である国立研究開発法人 水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所の元所長 板倉 茂 博士を水産研究センターの特別研究員として招へいし、水産研究センター内に赤潮対策プロジェクトチームを立ち上げ、赤潮研究の加速化を図っていく。

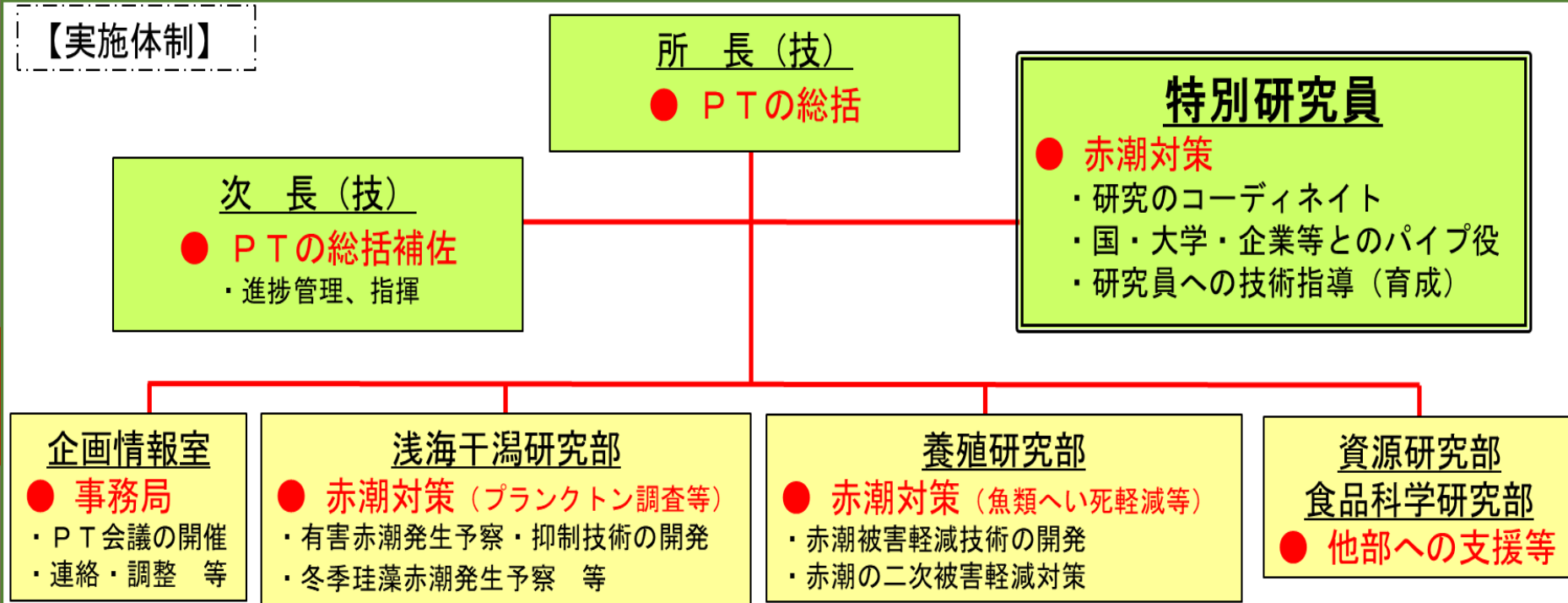
## 2 研究推進体制の充実

### (1) 赤潮対策プロジェクトチーム体制図

【目的】 赤潮対策に係る試験研究を効率的、効果的に推進するために設置

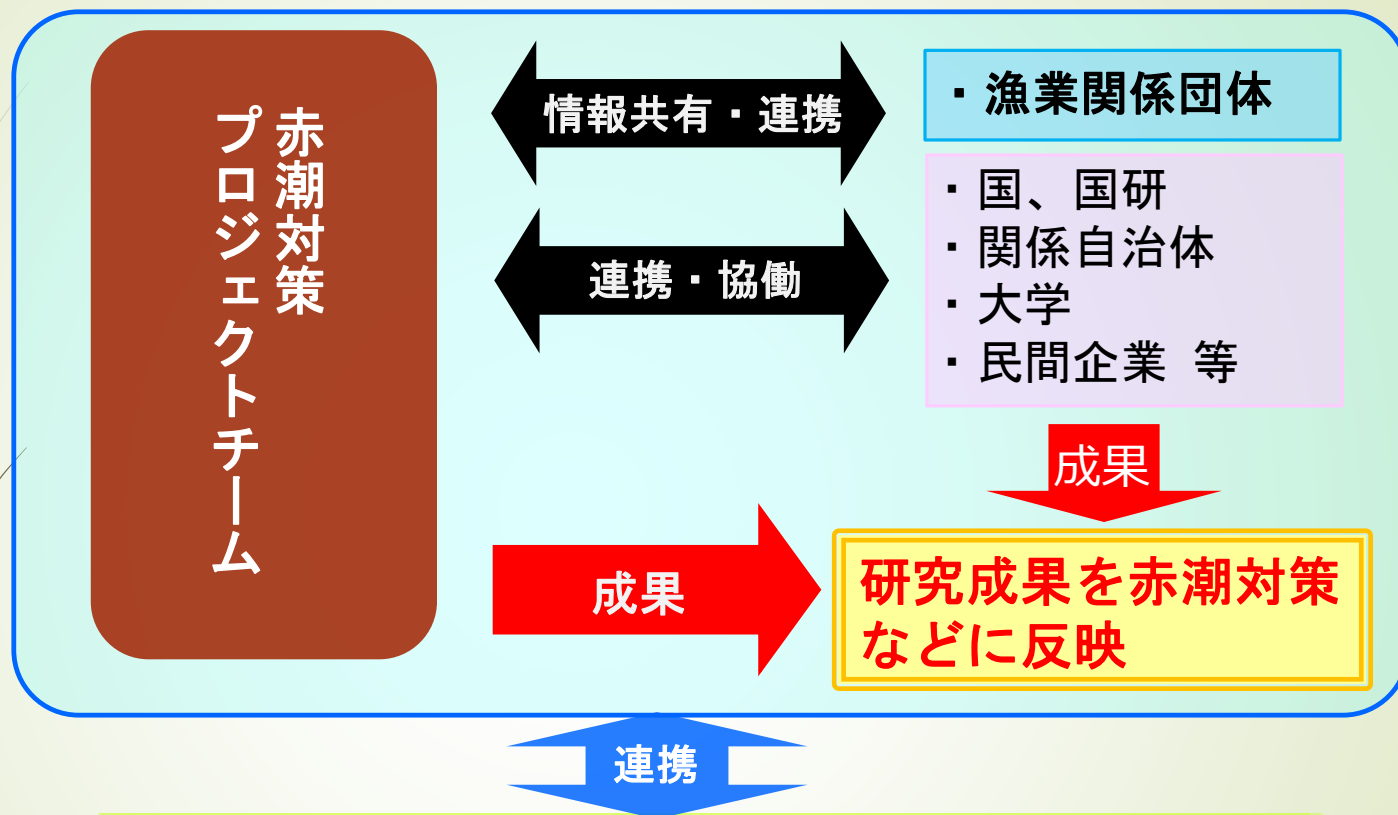
【業務】 赤潮対策に係る研究計画、研究方法、結果の検証

#### 【実施体制】



## 2 研究推進体制の充実

### (2) 赤潮対策プロジェクトチームと国等の他機関との連携・協働について



#### 赤潮対策連携会議

関係課で連携し、赤潮対策を計画的かつ効果的に進めるために開催

【協議内容】

- ・ 赤潮対策の内容
- ・ スケジュール

#### 【構成】

水産振興課  
漁港漁場整備課  
団体支援課  
水産研究センター  
県北水産課  
県南水産課  
天草水産課

### 3 目指す姿

安定した養殖生産と漁業経営の確立

#### 短期の目標

- 効率的な赤潮監視や発生予察を活用した早期対策の実施
- 足し網や生簀の大型化、改良餌料等を活用した赤潮被害を最小化する養殖の実施

#### 中長期の目標

- 赤潮が発生しても漁業被害を最小化する養殖の実現
- 赤潮が発生しにくい漁場での安定した養殖の実現